

2005.5.07

No.4

こあじ冊子

～ Little Tern Project ボランティア通信 ～



森ヶ崎情報

4月17日12:00頃

森ヶ崎の鼻干潟*にて今年初めてコアジサシが確認されました。1羽が強風にあおられながらも、魚を探るために果敢に水中へダイビングしていました。

4月20日午前

3羽が営業地上空を飛んでいるのをセンターの職員が確認しました。

4月24日15:15

営業地でキリッキリッという鳴き声を聞きました。双眼鏡で探しましたが、はるか上空にいるらしく見つかりませんでした。その後も2回鳴き声を聞きました。

4月25日15:00頃

森ヶ崎の鼻干潟に、20～30羽のコアジサシが飛来し、一部が干潟に下りているのを確認しました。

4月28日13:10

森ヶ崎の鼻干潟にて、31羽がダイビングを繰り返しているのを確認しました。

4月30日14:00

森ヶ崎の鼻干潟にて100羽以上を確認。営業地上空においても4羽を確認しました。

* 森ヶ崎の鼻干潟・・・屋上営業地と羽田空港の間に広がる干潟の愛称。干潮時には約15 haにも広がる。

千葉からの情報

コアジサシの初認は、4月6日に谷津干潟。その後、行徳の12日をはじめ、各地でちらほらと観察情報があります。千葉は東京よりも飛来がかなり早かったようです。

その他周辺各地の情報

4月15日14:40 「世田谷の野鳥環境を考える会」会長の澤村氏が多摩川、世田谷等々力排水樋管前の中州最下流部にて1羽を確認。水際でジッと長旅の骨休みをしていました。

4月19日午前 東京港野鳥公園にてコアジサシの鳴き声のみを東京港野鳥公園のレンジャーが確認。

4月29日 多摩川下流にて約250羽を確認。 (N.M)



《コアジサシ飛来速報》

ついにやってきましたー!



リトルターンプロジェクト(以下、LTP)は、2001年に現森ヶ崎水再生センター屋上での産卵確認を契機に始まった。コアジサシの建築物屋上営巣の国内事例は無く、営巣地整備は試行錯誤の連続であった。主な整備内容は以下のとおりである。

- 1) 風による卵転落防止のためスラッジライト+貝殻散布(02年)
- 2) 営巣地拡大+水没防止のためのコンクリートがら散布(03,04年)
- 3) 猫よけ扉設置(03年)
- 4) カラス止まり防止対策(鉄筋+水系)(04,05年)
- 5) 雑草除去(02,03,04年)

下水道局による屋上修復工事

2005年度に向けての整備は、下水道局(水再生センター)が昨年までの雑草の生えた営巣地を撤去して、コンクリート殻を配置するとともに、残った屋上全体にも川砂利を敷設する作業を行い、営巣地を約7haに拡大した。

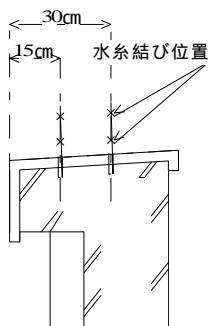
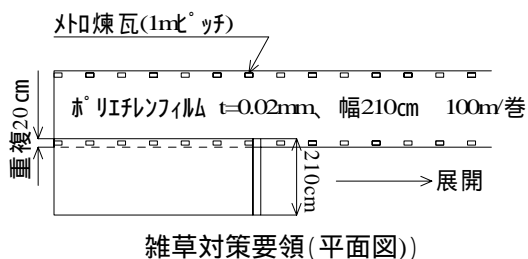


図-2 カラスとまり防止対策

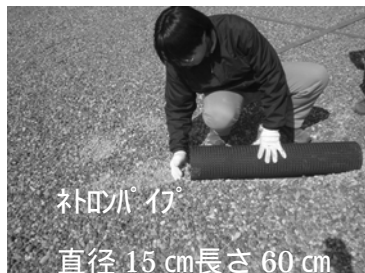


図-3 シェルター設置

ボランティア作業

ボランティアによる営巣地整備作業は、部分的に残った雑草繁茂地(約2800㎡)への対策(種子散布阻止)とカラスとまり防止、およびヒナの溝落下に対する対策が主なものである。

特に昨年は草原化のため営巣が阻害されたので、雑草対策は重要である。雑草対策は、雑草の上に直接フィルムを敷いて草を埋め殺し、さらに風および紫外線よけのためレキを敷いた。



シート敷設状況



完成状況

図-1 雑草対策状況

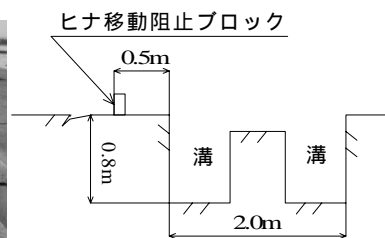


図-4 溝落下防止対策

昨年のシーズンでは、ボランティア作業のみでは雑草の繁茂は抑えきれず、営巣期には草原化してしまいコアジサシ飛来が見られなかった。この失敗に対して、作業に参加していただいたボランティアの皆さんに、深くお詫びしたい。

今シーズンの整備作業は昨年の反省や過去の経験を集大成したものである。本年こそは、コアジサシ営巣を見られるものと期待している。
(K.N.)

営巣地整備作業アンケート結果

営巣地整備作業(以下、作業)終了後に次の5点について皆様にアンケートを行いました。

- 参加者属性(性別・年齢・職業・住まい・作業参加経験の有無)
- 作業に申し込んだきっかけ
- 作業・オリエンテーション・レクチャー・配布資料・展示パネルに対する満足度
- 今後、LTPの活動に参加する場合に参加したい活動
- LTPへのご意見・ご感想

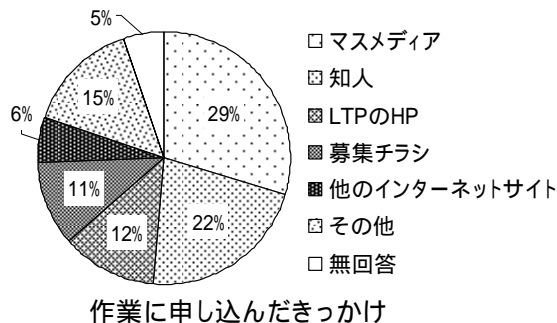
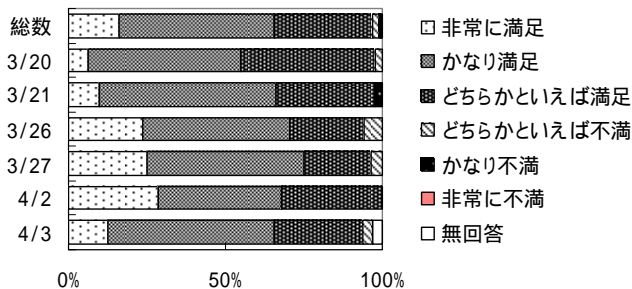
その結果をご報告したいと思います。

212名の方々にアンケートにお答えいただきました。
ご協力ありがとうございました！！

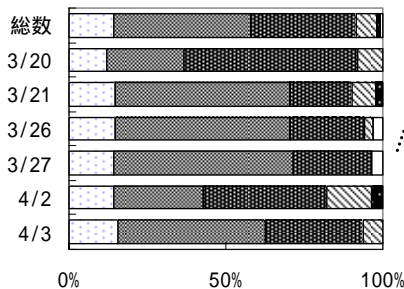


男性50%、女性49%
10代8%、20代17%、30代10%、40代11%、50代20%、60代以上30%、無回答3%
会社員25%、学生21%、主婦14%、退職者11%、アルバイト・パート10%、自営業6%、
公務員2%、その他9%、無回答2%
大田区以外に在住67%、大田区在住27%、無回答6%
作業参加経験なし50%、作業参加経験あり45%、無回答5%

作業全体に対する満足度



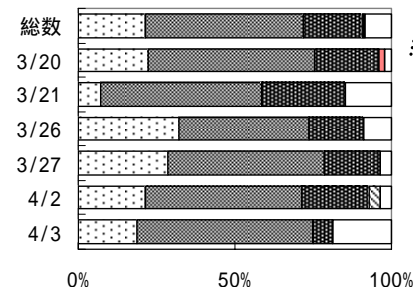
オリエンテーションに対する満足度



作業2日目に「現場で話したほうがよいのでは」というご指摘をいただき、作業3日目からは現場でオリエンテーションを行うようにしました。説明の内容に関しては、初めてのかたにとっては分かりにくい部分があるなど、まだまだ改善の必要があるようです。夏の観察会や来年度の整備作業では、より分かりやすく皆様にお伝えできるように努力いたします。

写真を使っでの説明はイメージがわかりやすく、これまでのLTPの活動を多くのかたに理解していただけたようです。また、イメージがわくことにより「作業がはかどった、やる気がでた」というご感想もいただきました。今後改善すべき点としては、写真だけではなく、グラフなども活用していくということです。具体的には「飛来数の時間変化と、LTPの活動内容の関係」をグラフにして見せてほしいというご意見をいただきました。

レクチャーに対する満足度

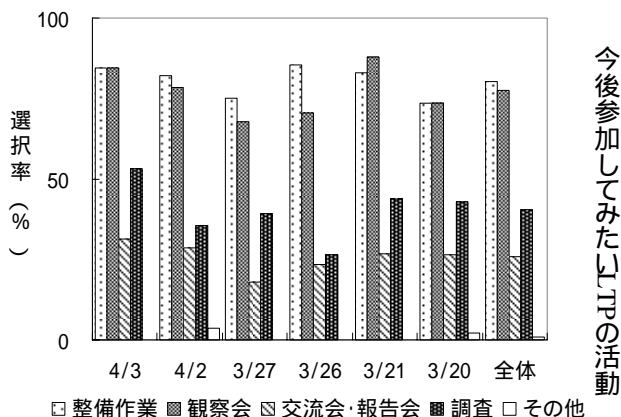


【その他のご意見・ご感想】

「参加してよかった、また参加したい」
「作業の段取りが悪い」
作業3日目からはスタッフによる作業前、作業後のミーティングを強化したところ、だいぶ改善されたようです。作業をより効率よく進めるための提案をしてくださった皆様、ありがとうございます。今後の作業の参考にさせていただきます。

「作業の効果、今後の動向が気になる」
これらの情報に関しては、観察会・報告会・HP・ボランティア通信などを通して、皆様にお伝えしていきますので、是非、観察会や報告会にご参加下さい。

「もう少し現実的な話(=「今年コアジサシが来ないと来年、行政予算(=都民の税金)としてこのプロジェクトが続けられるかどうか分からない)をしてほしかった。」
「もっと観察会や活動に関する話を聞きたかった。」



10代から60代以上の方まで幅広い年齢層の方が参加されているので、いろいろな人と会うよい機会になったのではないのでしょうか。作業ではお互い交流をもつ機会は少なかったかもしれませんが、観察会では交流会を行いますので、多数のご参加をお待ちしております。

このアンケートの詳細な結果はLTPホームページにも掲載予定です。また、観察会でも展示する予定です。

コアジサシ観察会のお知らせ

今年もまもなくコアジサシの営巣が始まります。広くなった屋上営巣地で、たくさんの営巣が見られることを期待して、観察会を行います。多数ご参加ください。

【日時】

5月28日(土)、6月19日(日) 10:00～13:00
7月2日(土) 10:00～12:00 / 13:00～15:00

【内容】

営巣地・干潟の観察、交流会

7/2(土)は、一般の方からも募集するため、スケジュールが変わり、交流会はございません。
交流会ではお菓子・飲み物をご用意いたします。

【対象】

・5月28日(土)、6月19日(日)は作業参加経験者のみ。
7月2日(土)は大田区報とLTPのHPから一般の方からも募集します。
・小学校5年生以上(中学生未満は親の同伴が必要です)

【定員】

5/28、6/19、7/2午前、7/2午後の各回ともに定員50名
定員を超えた場合は抽選を行います。

【参加費】

300円(保険代50円込み)

【集合場所】

森ヶ崎水再生センター (東京モノレール昭和島駅東口前)
当日は集合30分前、解散後30分間、モノレールの西口～東口間の通り抜けができます(無料)。LTPのスタッフが立っておりますので、スタッフにお声をかけて下さい。

【持ち物】

弁当、飲み物、タオル、帽子、双眼鏡・望遠鏡(お持ちの方は)

【申し込み方法】

5/20(金)必着、メールまたは官製往復はがき
電話でのお申込みは受け付けておりません。
宛先は・・・
E-mail: koaji@ml-d3.infoseek.co.jp
住所: 〒154-0003 東京都世田谷区野沢 4-21-22新田方 リトルターン・プロジェクト

【問い合わせ先】

Tel: 080-1173-7534 (受付時間・・・10:00～20:00)

スタッフ紹介

津村 昌伸 (つむら まさのぶ・写真上)
LTP保護整備部会 塗料メーカー勤務

元々は東京港野鳥公園のグリーンボランティアで活動していたことが縁で「LTP」にも関わるようになり、塗料会社勤務でペンキなら売れるほどあるので、今回の整備活動でも会社からペンキを持ち込んでカラダ除け鉄柵の塗装作業を行いました。子供がまだ小さく、なかなか活動に参加できていませんでしたが、これからはできるだけ参加して、そのうち子供にもコアジサシの巣立ちを見せてあげたいと思っております。



新田 正子 (にいだ まさこ・写真下)
LTP副代表 大田区役所勤務



二〇〇一年のリトルターンプロジェクトスタート時からのスタッフの一人。本業は大田区役所勤務の公務員。増田さんとは環境保全課時代に知り合ってから縁。営巣地整備の初年度にコアジサシのヒナを真近で見たとときの感動と、作業の合間にボランティアさんと交わす語らいが楽しみで続けているが、実は鳥には詳しくない。観察会でも「あの鳥は何ですか?」「何でしょうね」といつ会話を続けている。大学生と高校生の二児の母。

お問合せ先

住所: 〒143-0015 東京都大田区大森西5-10-22増田方 リトルターン・プロジェクト

E-mail: koaji@ml-d3.infoseek.co.jp

Tel: 080-1173-7534 (受付時間・・・10:00～20:00)

HP-URL <http://www.metro-npo.net/littletern/>

発行 リトルターン・プロジェクト

編集 柴田英美

イラスト・写真撮影 岩本久則・大塚豊・伊東真寿美ほか